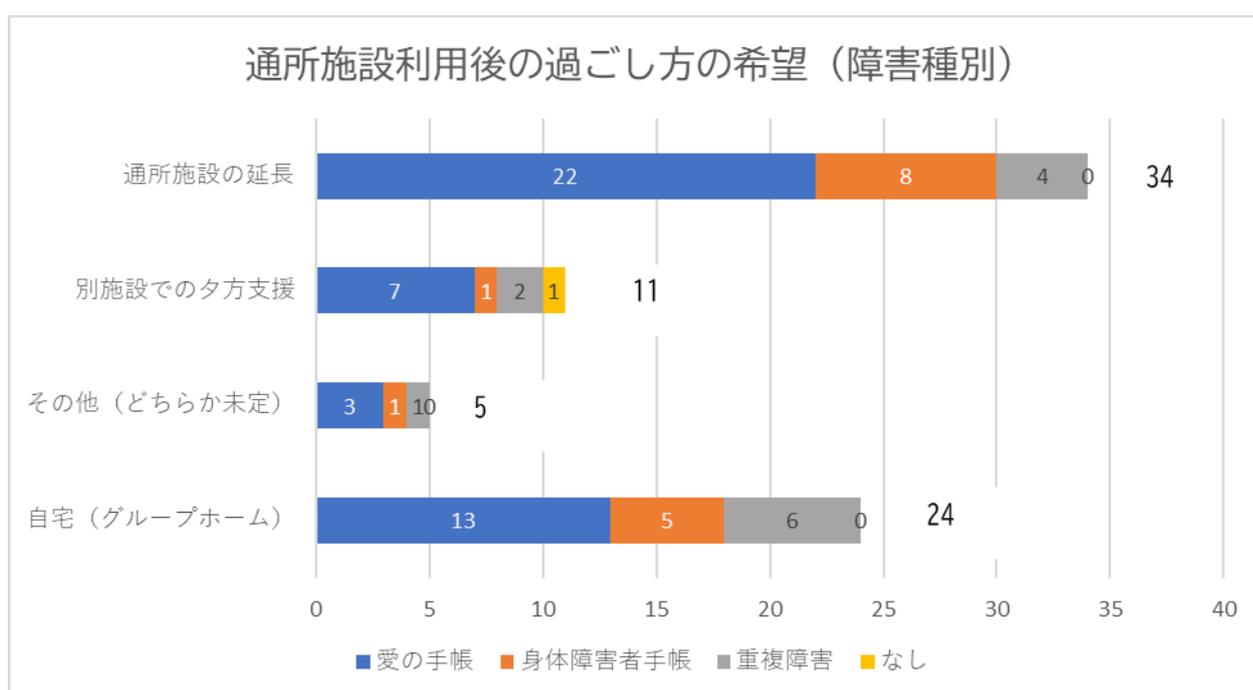


夕方支援（トワイライトサービス）に関するアンケート結果

1 利用者・保護者

(1) 通所施設利用後の過ごし方の希望（在学中の方は卒業後の希望）

⇒79人中、50人が夕方支援を希望している。（63.3%）知的障害者の割合が多い。



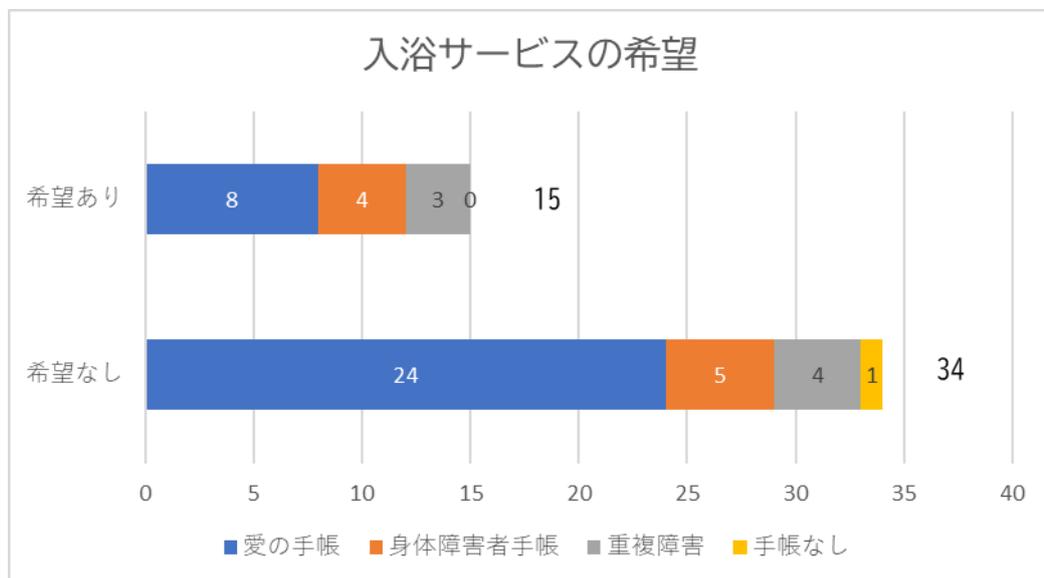
通所施設利用後の過ごし方の希望（在学中の方は卒業後の希望）（人）

	愛の手帳	身体障害者手帳	重複障害	精神障害者保健福祉手帳	なし	
未回答	4	0	0	1	0	5
自宅（グループホーム）	13	5	6	0	0	24
その他（どちらか未定）	3	1	1	0	0	5
別施設での夕方支援	7	1	2	0	1	11
通所施設の延長	22	8	4	0	0	34
合計	49	15	13	1	1	79

} 50

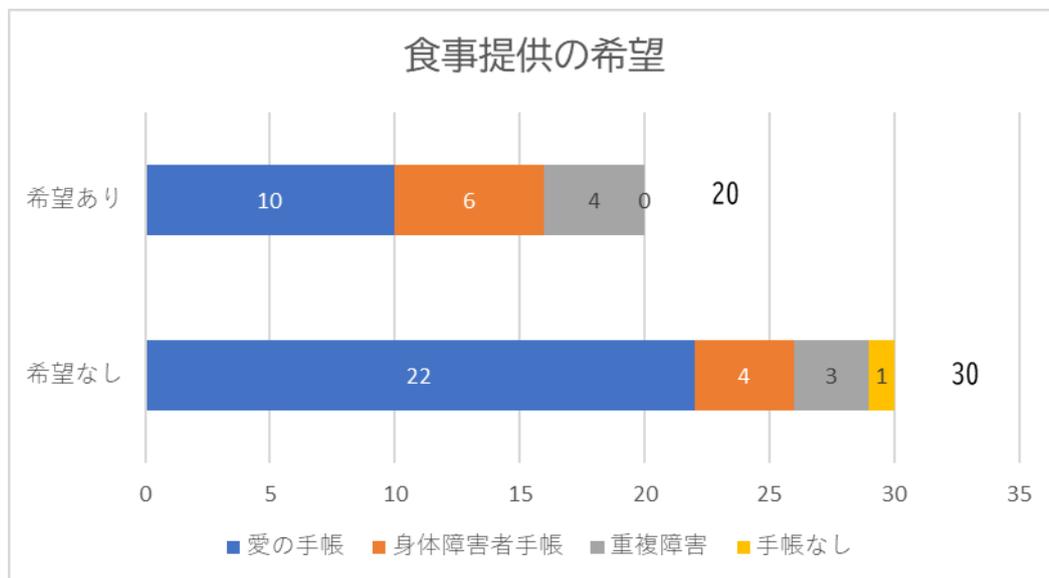
(2) 入浴サービスの希望

⇒ 夕方支援を希望した 50 人中、34 人が入浴サービス希望なし (68.0%)



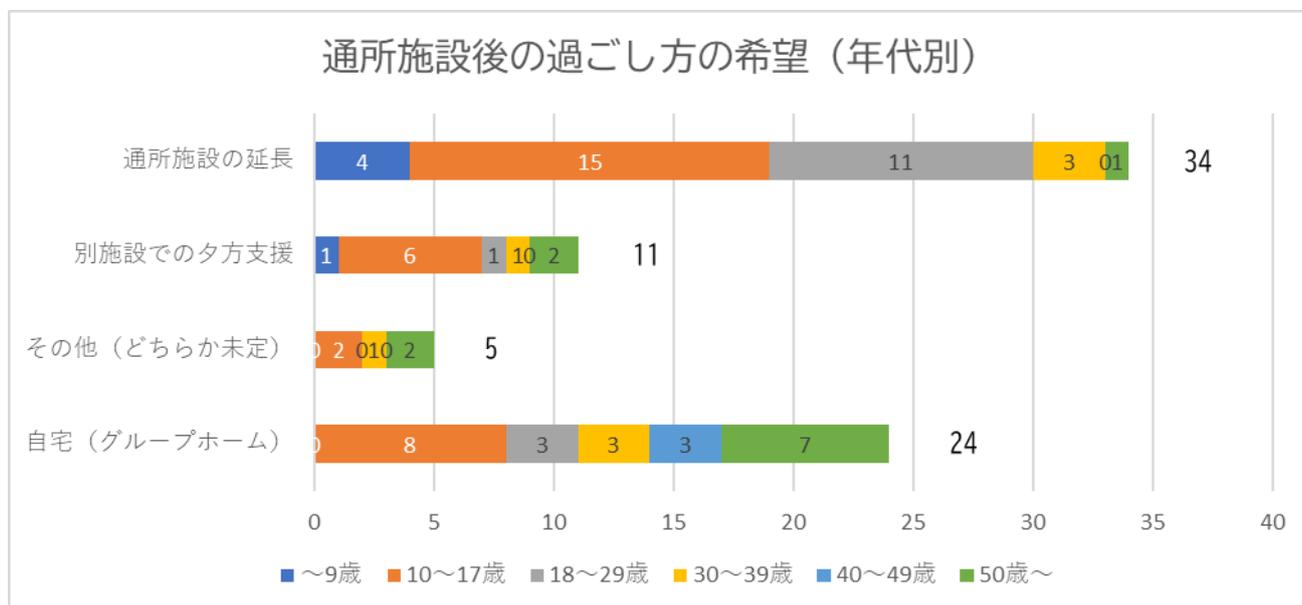
(3) 食事提供の希望

⇒ 夕方支援を希望した 50 人中、30 人が食事提供の希望なし (60.0%)



(4) 【年代別】通所施設利用後の過ごし方の希望（在学中の方は卒業後の希望）

⇒子供の年齢が29歳までの保護者が夕方支援を希望する割合が80.0%（50人中40人）



【年代別】通所施設利用後の過ごし方の希望（在学中の方は卒業後の希望）

（人）

	~9歳	10~17歳	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50歳~	合計
未回答	0	1	1	0	1	2	5
自宅（グループホーム）	0	8	3	3	3	7	24
その他（どちらか未定）	0	2	0	1	0	2	5
別施設での夕方支援	1	6	1	1	0	2	11
通所施設の延長	4	15	11	3	0	1	34
合計	5	32	16	8	4	14	79

(5) 希望する夕方支援の頻度

⇒夕方支援を希望する人のうち、週5回を希望する割合が48.0%（50人中24人）

⇒希望する理由は、「就労」が多く72%

希望する夕方支援の頻度	合計	割合	（理由）※複数回答			
			就労	レスパイト	家族の通院・介護	その他
週1	3	6%	1	2	1	1
週2	5	10%		2	1	1
週3	10	20%	6	6	2	0
週4	2	4%	2			
週5	24	48%	23	3	2	
週6	2	4%	2			
週7	0	0%				
その他	4	8%	2	2	1	1
	50	100%	36	15	7	3

(5-1) 希望する夕方支援の頻度（～9歳）

⇒～9歳全体の100%が夕方支援を希望、週5の希望が60%

希望する夕方支援の頻度	合計	割合
週3	1	20%
週5	3	60%
週6	1	20%
	5	100%

(5-2) 希望する夕方支援の頻度（10～17歳）

⇒10～17歳全体の72%が夕方支援を希望、週5の希望が78%

希望する夕方支援の頻度	合計	割合
週2	1	4%
週3	2	9%
週4	1	4%
週5	18	78%
その他	1	4%
	23	100%

(5-3) 希望する夕方支援の頻度（18～29歳）

⇒18～29歳全体の75%が夕方支援を希望、希望する頻度は分散傾向

希望する夕方支援の頻度	合計	割合
週1	1	8%
週2	2	17%
週3	3	25%
週4	1	8%
週5	3	25%
週6	1	8%
その他	1	8%
	12	100%

(5-4) 希望する夕方支援の頻度（30～39歳）

⇒30～39歳全体の63%が夕方支援を希望、週4以上の希望なし

希望する夕方支援の頻度	合計	割合
週1	2	40%
週3	2	40%
その他	1	20%
	5	100%

(5-5) 希望する夕方支援の頻度 (40~49歳)

⇒40~49歳は夕方支援の希望なし

(5-6) 希望する夕方支援の頻度 (50歳~)

⇒50歳以上の36%が夕方支援を希望

年代別・希望する頻度 (50歳~)

希望する夕方支援の頻度	合計	割合
週2	2	40%
週3	1	20%
その他	1	20%
未回答	1	20%
	5	100%

2 通所事業所 (生活介護・就労継続支援B型)

●夕方支援に関する現在の利用者ニーズ

(1) 夕方支援についての相談の有無

⇒現在の利用者から夕方支援の相談を受けたことがあるのは2事業所のみ

ある	2事業所
なし	11事業所
	13事業所

(2) 相談された人の属性

利用者の保護者等	2
利用者	1
他事業所職員	1
	4

(3) 夕方支援についての相談された理由 (複数回答可)

保護者等が働いているため	2
保護者等がその他親族の介護等をしているため	1
保護者等のレスパイトのため	1
その他	2
	6

(4) その他の内容

- ・マンション設備点検でエレベーターが使えない。月に1度程度あるため、その時だけでも預かってもらえないか？
- ・ご本人のさみしさ対応

(5) 具体的な相談内容

〔就労〕

・在学中は放課後デイサービスを利用していたが、卒後利用できなくなった。移動支援で対応してきたがいつも頼めるわけではない。親だからと言ってやりたいこと（仕事）をあきらめないといけないのか？

・仕事の関係でこれまでの放課後デイサービスと同じくらいの時間まで利用できないか。

〔レスパイト〕

・家族の負担が大きいのでなるべく遅い時間まで通所先にいることを希望する。

〔家族の介護〕

・祖父母の介護等をしており、通院同行しなくてはならない。自分の通院もしたい。毎日でなくても良いので、月に複数回長く預かってほしい。

●通所施設の延長についての事業所の意向

(1) サービス提供時間の延長の予定の有無

⇒サービス提供時間の延長を検討している2事業所のみ

ある	0事業所
検討中	2事業所
なし	11事業所
	13事業所

(2) サービス提供時間の延長の必要性

⇒現在の利用者において、必要性を感じているのは3事業所

必要	3事業所
不要	10事業所
	13事業所

(3) サービス提供時間の延長にあたっての課題（複数回答可）

⇒「必要」と回答した3事業所が回答（ほぼすべての項目に該当）

①職員の人材確保	3
②給付費収入の不足	3

③時間差での送迎	3
④少人数のため非効率	3
⑤その他	2
	14

(4) その他の内容

- ・利用者の意思ではなく保護者都合で預かるため、自傷・他害・物損といった行動障害につながる。
- ・延長となると、活動プログラムも検討しなくてはならない。「見守り」ではすまない。
- ・現在も週末になると疲労が見られる利用者が居り、体調に影響が出るのではないか。
- ・現在、サービス提供時間後に行っている掃除、消毒、職員の休憩、打合せの時間がなくなる。

(5) どのような支援があれば、サービス提供時間の延長ができるか。

〔送迎〕

- ・送迎費用の補助。委託料・燃料の負担が大きくなっている。運転免許を持つ職員数も少なく、運転をやりたがらない職員もいる。職員が運転業務をするのも難しい。
- ・延長の方用の送迎手段の確保（移動支援の充実、送迎会社への依頼など）

〔人材確保〕

- ・人材確保の問題が大きい。就職フェアへの参加・就職情報ツールの活用等行っており、行政も協力してくださっているが、雇用が難しい。
- ・現在の人材確保事業は助かっているが、福祉を希望する人自体が少ないので、小規模事業所は弱いかもしれません。

〔給付費収入〕

- ・自治体の助成金など助かっているが、そもそも基本時間の給付額が少なく苦しい。国に要望書を出すなどの行動を自治体単位で検討してほしい。給付費の問題はすぐにはどうにかなる事ではない。

●（仮称）北上野二丁目福祉施設でのトワイライトサービスに関するご意見

- ・当施設の利用者でもトワイライトサービスを活用したいという保護者はいるのではないか。
- ・強度行動障害のある方と、転倒骨折の不安がある高齢障害者・医療ケアや体が小さい弱い障害者が一緒に活動するのは、リスクが高いので、活動部屋を分けた方が良い。
- ・生活介護事業所が、北上野二丁目施設まで送迎する場合、事業所の送迎バス組みなおしや、事業所・家族との連絡調整が難しくなる。日中活動事業所の負担が増えることが心配。

3 相談支援事業所

● 夕方支援に関する現在の利用者ニーズ

(1) 夕方支援についての相談の有無

⇒現在の利用者から夕方支援の相談を受けたことがあるのは1事業所のみ

ある	1事業所
なし	3事業所
	4事業所

● (仮称) 北上野二丁目福祉施設でのトワイライトサービスに関するご意見

- ・入浴介助がご家族の大きな負担になっているケースは多い。ヘルパーが安定して確保できない場合もある。計画通り実施されれば、ご家族の負担軽減につながる。
- ・安定した人材の確保が必要不可欠だと思うので、待遇面についても重要視してほしい。